

町田市立つくし野中学校

ブランドデザイン

- * 生徒の実態
- * 教師の願い
- * 保護者の願い
- * 地域の願い

憲法・教育基本法・学校教育法・学習指導要領
東京都教育大綱・町田市教育プラン24-28

目指す教師像

- * 生徒一人一人を深く理解し、大切に、正面から向き合える教師
- * 保護者、地域の声を傾聴し、協同する教師
- * 現状に満足せず、進まず努力を重ねたり、相対して学びあう教師
- * 自己研鑽を積むことで、職員に喜び、信頼される教師
- * 一人の社会人として、モラルとマナーを備える教師

学校教育目標

- 【知】自ら進んで学び、学習に励む生徒
- 【徳】豊かな心を持ち、礼儀正しい生徒
- 【体】心身ともにたくましく、進んで実践する生徒

目指す生徒像

- * 優しく、人の痛みがわかり、思いやりのある生徒
- * 何事にも真摯に、前向きに取り組むことのできる生徒
- * 学ぶことに喜びを感じ、自ら学び、考え、目標とする生徒
- * つくし野中学校で学ぶことを誇りに思える生徒
- * 自ら知識・能力を高め、自らの長と短を認め、自らいそいそと学ぶ生徒

目指す学校像

★生徒が毎日通いたい、保護者が我が子を通わせたいと思える学校
★地域からの理解と協力があり、誇りに思ってもらえる学校

- ◎生徒が安心して学ぶことができる学校
- ◎一人一人が大切にされる学校
- ◎教職員が明るく働き甲斐がある学校
- ◎地域から愛される学校

具体的な方策①【社会に開かれた教育の実現】

- 目指す学校及び生徒の姿を家庭や地域と共有・連携した教育課程を実施する。
- * 各種便りを定期的に発行し、学校の教育活動をタイムリーに発信する。
- * 学校ホームページを見やすくわかりやすく構成し、タイムリーに更新する。
- * Classroom や Tetoru 等の ICT を活用し、家庭との連携を強化する。
- * 地域の教育力を生かし、地域人材を活用した教育活動の充実を目指す。
- * 各行事の際、保護者や地域の声を学校運営に反映できるようなアンケートを実施し、結果を学校運営協議会などで共有していく。
- * 些細な情報であっても、保護者と情報共有することを心掛ける。

具体的な方策③【豊かな心の育成】

- 多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にすることを意識・意欲・態度・行動力を育てる。
- * 自己理解と他者理解を通して、一人一人の自己肯定感を高める指導の充実
 - ・「考える、議論する」を意識した特別な教科道徳の推進。
 - ・「いじめは絶対にあってはならない」をあらゆる場面で指導する。
- * 生徒の気持ちに向き合い、寄り添った生徒理解、生活指導を心掛ける。
- * SDGs を意識した総合的な学習の時間を実施する。
- * 特別支援学級と通常学級との交流を通じて、インクルージブ教育の充実を図る。
- * 学活や特活や行事を通じて、よりよい社会を築こうとする態度や行動力を育む。

具体的な方策②【確かな学力の育成】

- 授業改善を進め、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得、思考力・判断力・表現力等の育成と共に、主体的・対話的で深い学びを実現する。
- * 生徒が「わかる・できる・つくる・楽しい授業」の創出を図る。
 - ・「学習の個別最適化」目当てに応じた ICT の活用「50分を大切に」した授業の実践「問題解決型・探求型学習の展開」など
- * 学習への興味関心を高め、主体的に学び続ける力を育成する。
 - ・「失敗を認められる集団の育成」「褒める・認める・励ますを意識した指導」「主体的に学ぶことができる場面の意図的・計画的創出」など

具体的な方策④【健やかな心身の育成】

- 正しい生活習慣を身につけさせ、丈夫な体とたくましい心を育て、
自助・共助・公助の力を身に付ける安全指導・安全教育を実施する。
- * 保健体育の授業の充実及び体育的行事の充実を図る。
- * SC や SR、関係諸機関との連携を強化していく。
- * 学校教育活動において、食育の充実を図る。
- * ソーシャルスキルトレーニングなどの手法を活用し、社会性を育成する。
- * 学活や特活を利用して、安心して生活できる集団を育成する。
- * 安全指導、避難訓練の充実を図る。